

日商簿記1級(全経簿記上級)講座ガイド

できるだけ早く日商2級の論点を整理しておいて下さい。特に
工業簿記(過去問123・124回第4問)原価計算(過去問115・116回第5
問)
商業簿記(過去問124・127回第3問)をしっかり確認
解説WEB講座を確認してください
http://www.kaikei-soft.net/movie/mv_boki.html#07

※網掛け部は昨年度の収録分(変更点なし。問題ありません)

各回 講座DVD(●印には該当講座の復習用の答練DVD付きます)答練DVD枚数は9枚				
	商業簿記・会計学(24枚)	工業簿記・原価計算(21枚)	日商過去問ゼミ(8枚)	全経過去問ゼミ(6枚)
第1回	税効果会計・貸倒引当金 ①P41-76	設備投資の意思決定 ③P248-284	最適セールスマックス(113回)	CVP分析(158,159)
第2回	有価証券 ①P78-122●	設備投資の意思決定② ③P285-321●	商業簿記総合問題(114回)	キャッシュフロー計算書(159) リース会計
第3回	有形固定資産・資産除去債務 ①P124-178●	CVP分析 ③P2-49●	標準原価計算(125回)	個別原価計算(150)
第4回	リース・減損 ①P186-239●	直接原価計算 ③P50-84	連結会計(117回)	連結会計(156)
第5回	その他資産・引当金 P240-291●	直接標準原価計算 ③P85-104	予算実績差異分析(116回)	取替投資(161)
第6回	退職給付会計・社債 ①P292-317, P2-34	予算編成と予算統制 ③P106-139	CF計算書・株式交換(114回)	標準原価計算(153工簿)
第7回	純資産～分配可能額 P38～P93●	詳細分析 ③P140-159	部門別計算(110回)	
第8回	新株予約権・予約権付社債 P94～127●	セグメント別損益計算 ③P162-194		
第9回	一般商品売買・売価還元法 ②P130-177●	割引現在価値・業務執行の意思決定 ③P196～224		
第10回	委託販売・試用販売 ②P187-218●	経済的発注量 P225-229		
第11回	割賦販売・工事契約 ②P220-259●	最適セールスマックス ③P230-245		
第12回	本支店会計 ③P2-40	材料費・労務費(ほぼ2級の復習論点) ①P32-110●		
第13回	企業結合 ③P42-91	製造間接費・差異分析 ①P122-167●		
第14回	連結1 ①P94-128	部門別計算1 ①P168-207		
第15回	連結2 ③P130-160	部門別計算2 ①P208-234●		
第16回	連結3 ③P161-190	純粋FIFO・総合原価計算の仕損 ②P32-84●		
第17回	連結4 ③P192-222	工程別総合原価計算 材料の追加投入 ②P86-133		
第18回	持分法 ③P223-248	組別・等級別総合原価計算 ②P136-172		
第19回	包括利益 ③P268-287	連産品 ②P173-194		
第20回	外貨 ③P290-328	標準原価計算の基礎(ほぼ2級の復習論点) ②P196-239●		
第21回	キャッシュフロー計算書 ③P344-379	標準原価計算の仕損 ②P240-261●		
第22回	デリバティブ・1株あたり利益 ③P380-403	歩留差異と配合差異 ②P262-290		
第23回		標準原価計算の期末会計処理 ②P291-314		

全経上級 7月8日(日)を目指す

週20時間が必要

平日3時間×4、土日各4時間 または 土日20時間

3月:日商2級の内容をしっかり復習しておきます

第1回、2回 問題演習(過去問使用)

4月:第1週 第3回、4回 問題演習(過去問使用)

第2週 第5回、6回 問題演習(過去問使用)

第3週 第7回、8回 問題演習(過去問使用)

第4週 第9回、10回 問題演習(過去問使用)

5月 GWで 第11回、12回、13回、14回

第2週 第15回、16回 問題演習(過去問使用)

第3週 第17回、18回 問題演習(過去問使用)

第4週 商会19～22回 問題演習(過去問使用)

6月:第1週 工原19～23回 問題演習(過去問使用)

第2週 日商簿記1級ラストスパート模試・全経上級過去問

第3週 日商簿記1級ラストスパート模試・全経上級過去問

7月 第1週 全経上級過去問

※ラストスパート模試は別売(2,100円)です

全経簿記試験にも日商1級ラストスパート模試は有効です。

また、秋に受験の日商1級への流れも同時につける事ができます

この後、日商1級を目指す方は

日商1級ラストスパート模試と過去問を何回も実施する
(自信のない論点はDVDで復習する)

10月からの直前期に、第132回ラストスパート模試を実施する
(2～3回転行)

●7月の全経上級を受験しない方は、上記スケジュールを組み替えて11月の日商1級のスケジュールとして下さい

全国経理教育協会の簿記上級資格は日商簿記1級に比べると有名ではありません。しかし、どちらの資格も想定は「大企業の経理責任者」また取得後は税理士試験の受験資格が与えられること、さらに試験範囲が約90%重複している事など共通している部分が多いのです。

日商簿記試験は「基礎学力」に加えて「ヤマがあたるかどうか」などの運の要素もあります。それに対して全経上級は一定の範囲から「まんべんなく」出題され、受験者の努力が正当に評価される試験といわれています。

私は日商簿記2級の講師をしている時に受験し(2級の力は100%の状態です)、約2週間の学習でギリギリでしたが合格しました。この試験は2級の知識がしっかり整理されている方が、平日約2時間、土日合計約10時間(通学の学習時間含む)学習すれば3か月で合格圏内に入る事ができます。

また、日商簿記1級の早期合格を目指す方にとっても、基礎知識を習得するための学習と位置付ける事ができます。

最近の日商簿記1級の会計学では125回・128回で理論の記述式が出題されるなど、その出題傾向がIFRS時代を迎えて変わりつつあります。全経上級では日商に比べて理論問題の配点が多いことも特徴の一つです。

CMCの全経簿記上級講座の過去の受講者には日商簿記2級に合格する力がありながら不合格になってしまった方もおられます。「2級の学習では点だった知識が線になった」「あれほど難しかった2級の問題がスラスラ解けるようになった」「会計や原価計算の本質がわかった」などの声をいただいています。

さあ、貴方も上級簿記の世界に飛び込んでみませんか。